



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和2年4月24日
登校日に 第0号
校長 矢野 晴一

学校教育目標:「目的意識をもって自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒の育成」

みんなとはやく会いたい! ~ 例年とは違う春に ~

満開だった桜から目にまばゆい青葉に変わりつつあり、季節の風景は例年通りのうつろいをみせてくれています。通常であれば、大原中学校の子どもたちとの出会いを経て、学校生活を送っているところなのですが、令和2年3月から新型コロナウイルス感染予防対策のために私たちの日常の営みは制限されました。卒業式、始業式、入学式等、あたりまえにやってきたさまざまな行事や学校生活も制限され続けて現在を迎えています。

子どもたちとの出会いの場を迎えられず、もどかしい気持ちでいっぱいなのですが、見方を変えてみると、私たちは大切なことを学んだと思います。

それは、「家族や仲間とともに過ごす何気ない日常の中に大切な宝物がある」ということ。

「積小為大(せきしょうだい)」という言葉があります。「小を積んで大と為す」、つまり、勉強でも部活動でも、自分で決めた小さな努力を毎日毎日コツコツと積み重ねることが、自分の目標を達成していくための道であるという意味です。毎朝家族や友とあいさつを交わす、授業にがんばる、放課後の部活動に汗を流す、そんな当たり前の何気ない日常の積み重ねこそ大事にすべきことだということを、制限された日常の中で私たちは身をもって実感することができました。

日々の小さな営みや努力の積み重ねを大切にしたいと考え、大原中学校の学校だよりを「積小為大」と題して発行していきたいと思ひます。

もう一つは、「私たちは見えないところでたくさんの人に支えてもらっている」ということに気づくことができたこと。

日常とは違う生活の中で、私たちは、日ごろ見過ごしてしまいがちな、「つながり」を感じたり、「支え」を感じたりすることができました。支えてくれる友達や先輩、家族、先生、そして地域の方々との「つながり」を感じるとともに、「ありがとう」の気持ちを忘れないでほしいと願っています。

新しく仲間となったみなさんといっしょに、「令和」という新しい時代の立大原中学校をつくりあげていきたいと心から願っています。

今は、学校再開予定の5月7日(木)を無事にむかえることができるように、じっと耐えなければなりません。子どもたちが健康に留意しながら自らを律した生活を送ることができるように、ご家庭のご協力をお願いいたします。



「ありがとうございました」「よろしくお願ひします」

~ 転出・転入職員の見紹 ~

春は、別れと出会いの季節です。離任式や赴任式を執り行うことはかありませんでしたが、本年度の異動により、転出された先生方と本校に転入された先生方を見紹します。

転出の先生	転入の先生
柴田 美由紀 校長 (北筑後教育事務所へ)	津田 益弘 先生 (三国中より) 数学
山田 洋 先生 ご退職	田中 俊義 先生 (小郡中より) 英語
米倉 佳美 先生 (夜須中へ 教頭)	稲吉 恒二 先生 (立石中より) 保体
久野 智司 先生 (小郡市教育委員会へ)	石橋 菜々子 先生 (新規採用) 栄養
池田 佳大郎 先生 (小郡中へ)	寺本 駿 先生 (南陵中より) 数学
松島 光 先生 (小郡中へ)	三上 空遠 先生 国語
藤門 義信 先生 (宝城中へ)	二田 伊吹 先生 社会
藤上 健一 先生 (小郡中へ)	矢野 晴一 (附属久留米中より) 校長
野田 聖弥 先生 (立石中へ)	

今、大切なこと！

～ 元気に過ごすことと情報に惑わされないこと ～

今、私たちに求められる大切なことは、・・・

その1 5月7日(木)の学校再開の日を信じて、

自らを律した生活を送ること！

(みんなが気をつけていること・・・三密を避ける、マスク着用 等、気をつけるべきことに取り組みましょう。)

(生活のリズム・・・睡眠時間や食事等、生活習慣のリズムを整えましょう。夜遅くまで起きて、朝起きるのが遅くなるのはいけません。)

(読書のすすめ・・・ゲームやスマホは時間を決めて、それを守りましょう。勉強も読書でもいいので、主体的に「今できること」をみつけて取り組みましょう。ちなみに、私はいま「国境を越えたスクラム」という本を読んでいます。)

(心を整える・・・現在の状況にストレスを少なからず感じている人も多いと思います。自分なりに、今できるストレスをやわらげる方法を実行していきましょう。私は、「子どもたちとの出会い」を楽しみにすることで心を整えています。)



その2 たくさんの情報を一瞬にして得ることができるからこそ、

「本当にそうかな?」という意識をもつこと！

今、世の中にはいろいろな情報がでまわっています。何が正しくて何が誤りなのか、情報に踊らされずに自ら考えて判断することが求められていると思います。

正しいのかそうでないかわからない「情報をうのみにしてしまわないこと」や「発信者の意図を考えずに、一面的なかたよった見方にならないようにすること」等、一度立ち止まって、考えたり確かめたりすることが大事だと実感しています。



小さいけれど大きな感動 その1 ～子どもたちを安全に迎えるために

4月当初から臨時休校が続く中、小都市では、4月20日(月)からの週で新2、3年生の登校日を設定します。本校は23日(木)、24日(金)に設定しています。

また、4月28日(火)に新入生の連絡会を行います。

「子どもたちが学校に登校する」

先日、先生たちみんなで学校に登校する子どもたちの安全にむかえるために、学校中の教室やトイレ等の清掃と扉や机、いす、ドアの取っ手等の消毒を行いました。

手づくりの消毒液で、「あっちもしとったほうがいいよね」というように、気づきを声に出し合いながら一生懸命に拭き上げていきました。

今、世界規模で不安が広がる中、「子どもたちを安全にむかえる」というただ一点のために、自分たちにできることに精いっぱい取り組む先生たちの姿に、感動を覚えました。



※何か心配な点や不明な点がございましたら、遠慮なく学校のほうにご連絡ください。

(大原中学校 ☎ 0942-72-2027)